This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

2 then, image data goes through TrT 4, and it is written in at pixel electrode

After image data was written in, till when gate electrode layout 1 is supposed to be non-selection, gate electrode is chosen the non-conductive states

Liquid crystal replies depending on image data written in, and it is displayed so that liquid crystal 6 is sealed between common electrode 3 and pixel

5 and capacity to be configured with common electrode 3.

neighbor TFT 4 next, image data is held.

electrode 5

90日本国特许庁(JP)

⑩ 特許出 頤公開

母公開特許公報(A) 昭62-40493

G 09 G 3/36 8621-5C G 02 F 1/133 1 2 9 B-7348-2H	®int.Cl.⁴		规別記号	厅内整理番号		6公别	昭和62年(19	987) 2月21日
G 09 G 3/20 Dー7436~5C 密在請求 未請求 発明の数 1 (全6頁	G 02 F	1/133	1 2 9	B-7348-2H	器在請求	未許求	発明の数 1	(全6頁)

❷発明の名称 カラー液晶表示基質

> ⑨特 頭 四50−181356 ❷出 頭 昭60(1935)8月19日

武 志 诉訪市大和3丁目3番5号 株式会社諏訪精工合内 仓発 明 者 小 野 ②発 明 者 32 **顽**訪市大和3丁目3番5号 株式会社諏訪精工合内 -母 明 者 中村 句 取訪市大和3丁目3番5号 株式会社取訪荒工會內 章 隆 **瓜**訪市大和3丁目3番5号 株式会社驱訪帶工告内 砂発 明 者 关 島 母発 明 者 曽 根 原 贯 堆 母発 明 者 经二 顶动市大和3丁目3套5号 株式会社预訪特工舍内 有 賀 ⑪出 顋 人 セイコーエブソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 会社

弁理士 最上 秎

1 発明の名称

カラー疾品安示范壁

2. 特許原求の範囲

キルによるカラー変示変量において、水、葉、質 の瓜色信号をディジタル兼に変換する手段と、変 残されたディジョルデーメーを一時見位する第1 のラッチと、出力ダーターを記憶する話2のラッ チと、出力データーをアナログ量に交換する手段 により、食品パネルに着を込む飲色信号を得るこ とを神祇とするカラー武品表示製量。

(2) 前記頭色信号を、斑及伽の超点を簡素プラ ックとして構成し、因素プロック単位で駆伏する 込むことを特征とする、特許程束の範囲第1項尼 載のカテー液基点示弦量。

3 発明の幹細な説明

〔商學上の利用分野〕

本苑明はフルカラー表示をむこなうカラー放盖 **芸示装置の配動方法に関する。**

[征来の技術]

従来のカラー放品表示装置は、ドットマトリク スで検点した阅读を1ヶインごとに母分割して記 (1) 薄膜トリングスタアレイを実種した液晶パ 、動する方式であった。また顔胸是示に関しては、 パルス程交貨によるものが多い。

> また、弾膜トランジスタアレイを集張した放品 バキル(以下 エヌエパネル と称す。)の函数 にないても、区色信号のある一定時間の情報を留 素に書き込む方法が彩られている。

[英明が解決しようとする問題点]

しかし的述の従来技術では、時分割収動する方 式にかいては時分割比を大きくすると視角特性が 恐化するという欠点を有し、砂顆次で起負するた ゆうインメモリー等を必要とするといった欠点を 有する。

また従来のエヌエパネルの以動方法では、原色 信号のある一定時間の祖分値を姻常に書き込むこ

特原昭62-40493 (2)

とになり、書き込み時間内に 区色信号が急変する と不用実な情報を表示するので戦邦邸が不能明に なり間質が低下するといった欠点を有する。

そこで本発明はこのような問題点を解決するもので、その目的とするところは、問単な回路を付加するだけで鮮明な国象が符られるカナー被品を示装置を提供するところにある。

[四耳点を解決するための手段]

カラー『ヨ『ベキルによるカラー表示変徴にかいて、あ、 筋、 育の 灰色信号をサンプリングして ディジタル量に変換する手段 (以下 A/D 変換とす。)と、変換されたディジタルデーターを 一切に位する 製版 図の 第1のラッチと、 出力 データーを出力時間中配位する、 第1のラッチと同数 図の第2のラッチと、第2のラッチと同数 図の 第2の グラッチと同数 図の 仮色 と称す。)により、 第2の ラッチと 同数 図の 仮色 信号を 存ることを 将数とする。

さらに許記版色信号を、原色信号と同数値の留 気を越帯プロックとして構成し、固定プロック単

気を保持するので安定した書き込みができる。 【実施例)

以下、本義明による一実施剤を図面を含成して、以明する。

エフェ4は各國業に対して2個が直列に作られ

位で収改者を込むことを特徴とする。

(作用)

エアエバネルを用いることにより、スタティック駆動に近い駅的が可能となるため、コントラスト比の高い鮮明で復角特性の良好な関係が得られる。

A/D 変換により原色信号のサンプリングをおこ たうので、駐取怒等がシャープになり、歴質が向 上する。

複数目の第1のラッチは、A/D 受表の出力を一時に達して、エヌエベネルにデーターを書き込む時間を確保するもので、エヌエベネルにデーターを書き込む時間と彼の因素数により個数を決定する。

第2のファチはありのファチに配慮したデータ 一を並列にラッチして、エアエペネルに書き込む 時間中保持している。

P/A 交換は第2のラッチのデーターを一定のア ナッグ量に変換して各関策の原色信号を存る。各 複素に書き込む時間中において、データーは一定

.ているが、これはマアェイが非準度の成れ電流 を低減するためであり1値でも良い。

また、フルカラー表示をかこなうため各国本にカラーフィルメーを形成するが、本製施図ではカラーフィルメーを、1 ライン目では左より赤四、ほの、乗回の届、2 ライン目では 0 、 B 、 R の顧、3 ライン目では B 、 R 、 0 の層で、以下これの扱り返しとなっている。

第2回は信号処理の回路プロック圏であり、賦 色質号の処理をしてエアエベネルに書き込む原色 信号を得るまでの図である。

図にかいて、ROB列を回路11は10-R、10-0、10-Bで示される赤、森、脊の反色におを列をあるので、第1回にて見明したようにカラーフィルターの色服金が1ラインごとに異なるため、カラーフィルターと灰色信号の整合をとるものである。

103切を回路11を通った風色信号10は A/D 変換12に入り、テンプリングタロック16 の立ち上がりエッチにてナンプリングをかこない

特開昭62-40493 (3)

ディジョル 質に変換する。 A/D 変換 1 2 の出力は 本収的例においては 1 6 即目表示としているため 4 Dit 出力である。

A/D 変換12の4 bit 出力は2型の第1のラッチ13-1かよび13-2に入り、それぞれ19-1、19-2の第1のラッチクロックにより一時記憶される。第1のラッチ13が2型ある理由は、本変監例によるエアIパキルのゲート電優配数が320本であり、書き込みに必要なであり、書き込みに必要なであり、すなわち、アレビジの間は6352である。か、たのうち有効変にをの間に6352である。か、 頭、 曹の3 仮色を同時のサンブリング回数は、

320/3+107 (四)

となりテンプリング回期は C. S a8 ق度となる。 それ並、 1 a3 の書き込み中間を確保するため、第 1 のファチモ 2 超必要としている。

エヌエパホルの固果構皮が交わったり、書き込

エ同シフトレジスま 5 2 はその出力にてトランスファーゲート 5 3 を制御し、原色信号 1 7 を書き込む国常を選択するもので、エ回スまートベルスミもシよびエ回クロックにで動作をおこなり。

み時間等の条件の変化、あるいは健胃型の変更等により第1のフッチ(3の程度が変わることは当然である。

13-1かよび13-2の第1のラッチに耐放 記録されたデーターは、次に第1のラッチ13-1に折しいデーターが記憶されると何時または眩 前にあ2のラッチ14に第2のラッチクロック2 0により記憶され、第2のラッチ14の出力はカ/ A変換15に入りアナログ量に型膜される。カ/A 変換15の出力は第2のラッチ14の出力が変化 するまで同一レベルの電圧観を保持するので、エ フェベネルに対し安定した書き込みをかこなうことができる。

極性反転回数16はエヌエバネルが交流放動を 必要とするため、1フィールド時間ごとに抵住を 反転するものである。

以上の回路動作にて、エアエパネルに存を込む 仮色信号17-1より17-6を存ている。

男 5 回は、ベネル影動部のブロック回であり、 回にかいて 7 回窓動回路 3 1 は 7 調スタートベル

なう。なか、第3回にかけるベネル駆動部の回路 は、液晶ベネルのガラス高板上に、エフェ素子に て存成することも可能である。

第4回は第2凶かよび何3回で説明した動作の タイミングチャートであり、テレビジョン国像安 示の例である。

図にかいて、版色信号10はサンプリング度別がかかしね500 a3のサンプリングクロック18
の立ち上がりエッジでサンプリングされ、その出力は2段の第1のラッチ15に第1のテッチクロック19ー1か上び19ー2の立ち上がりエッジで記憶される。第2のラッチ14には第2のラッチクロック20のタイミングで記憶され、かかひね1月3の期間記憶されてエフェに書き込む反色信号17を得る。

エ回クロック 3 7 は 3 2 の 7 ァ チ クロック と 同一で 8 9 立ち上が 9 エッジで エ 佩 シ 7 トレ ジス 3 3 2 を 転送する。 エ 図ス 4 ート パルス 3 6 は 天 質 クロック 3 7 の 最初の 9 セックのときに 図に 示す タイミングで入力される。 セレクト 5 号 3 8 は

特別昭 62-40493 (4)

3 8 - 1 から 3 8 - 3 で示すように風次出力される。

〔発明の効果〕

周辺回答の構成が同単であるとともに、 ェマェ パキルの国景数や特性の変更に対しても遊成要素 を 変更することなく 単にラッチ等の個数の変更の みで対応が可能であり、拡張性が良い、変更が原 単といった効果を有する。 さらには安示に要する時間の通れが、然 1 のうッチで一時に低する時間のみではぼりアルタイム 処理が可能であるため、大容量のラインメモリー そを必要とせずに関係な回路の付加により鮮明菌 像が得られるといった効果を有する。

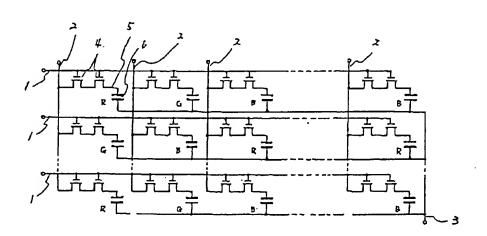
4. 間面の商品な質明

新り回は本苑明のカラー液晶表示安便に用いる エアエペキルの冬毎日節回である。

第2回は信号処理の国路プロック目であり、第 3回はベネル配約部のプロック目、第4回は第2 図かよび第3回による回路のタイミングチャート 図である。

以上

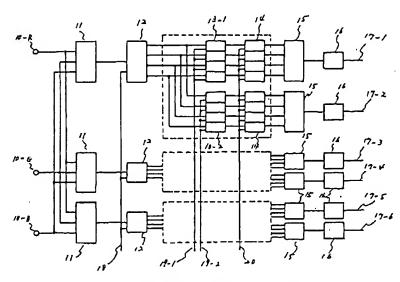




TFTパネル a 等価回路回

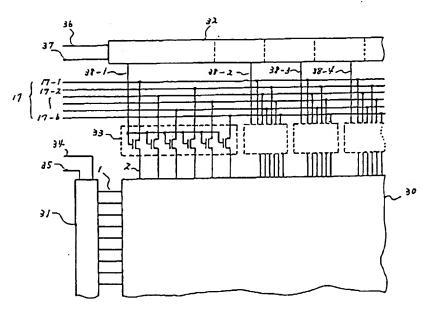
第 1 図

持周昭62-40493 (5)



信号処理人国路フロック団

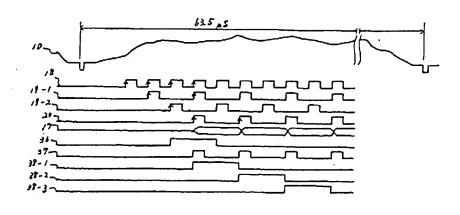
第 2 図



パネル、駆動部のプロック図

第3図

特開昭62-40493 (6)



タイミンプ ナャート 図

第 4 図